平成24年7月　発行

養成所ニュース

平成24年度　第1号　NO.22

発　行
財団法人 日本知的障害者福祉協会
社会福祉士養成所
〒105-0013東京都港区浜松町2-7-19
KDX浜松町ビル6F
TEL:03-3438-0984 FAX:03-3431-1803

第24期生269名が受講スタート!

「第24期・新受講生を迎えて」

財団法人 日本知的障害者福祉協会　社会福祉士養成所

所長
橘　文也

第24期生の皆様、社会福祉士養成所へのご入学、おめでとうございます。

また、第24回社会福祉士国家試験を受験し、近年においては非常に低い合格率の難関を突破して合格された修了生の皆様、重ねて祝福申し上げます。

さて、平成24年４月１日施行の改正障害者自立支援法においては、相談支援の充実と体制の強化が明記され、障がい者の地域生活を支援する相談支援事業等の重要性が高まっています。その事業を担う相談支援専門員にはソーシャルワークを業とする社会福祉士の有資格者が最適であると考えられます。

社会福祉士は誕生から20年が経過し、近年の福祉ニーズに対応した専門職としての役割を担うため、その養成課程において、「実践的な力」を身につけるための科目構成に見直され、「相談援助演習」を重視する内容となりました。

本養成所では、従来からこのプログラムに力を入れ、専門性と実践力を備えた実践場面で活躍できる人材を養成しています。

これから益々、社会福祉士を中心とした専門職が必要とされ、その力量が試される時代となります。本養成所での学習を通して、ソーシャルワークの価値や倫理、専門的知識と技術を身につけ、社会福祉士として活躍されることを期待しています。

仕事や家事等と多忙な中での受講となります。互いに励まし合い、目標に向かって、邁進されることを心からお祈り申し上げます。

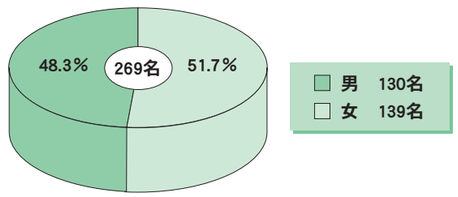
■第24期生の概要　（平成24年4月現在）

第24期生社会福祉士養成所の受講生は、269名です。
概要については下記の通りとなります。

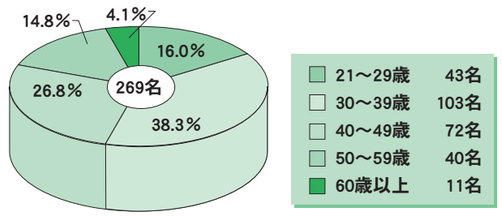
●運営状況（過去３年間）

年度（期生）	応募者数	入学者数	修了者数
平成22年度（22期生）	240名	219名	207名
平成23年度（23期生）	308名	291名	
平成24年度（24期生）	280名	269名	

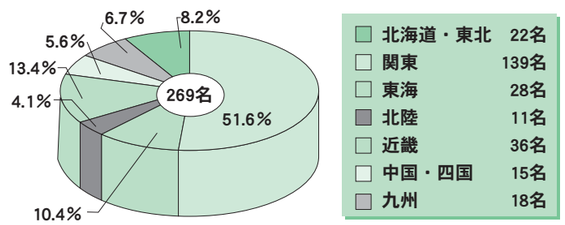
受講生男女比



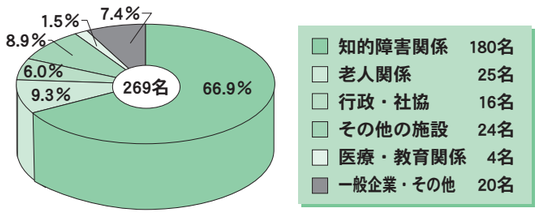
年齢別分布



地区別分布



勤務先種別



専任教員の独り言

社会福祉士養成所
専任教員　中野惠美子

福祉は「人びとが生きること」を支える活動として生まれ、発展してきました。「ゆりかごから墓場まで」は、早くから社会福祉が発達したイギリスの社会保障政策のスローガンでしたが、最近、介護保険にも福祉施設での「看取り加算」が加わり、「看取り」は名実ともに福祉の実践課題となりました。

実習巡回で伺った施設のホールには花輪が飾られ、お通夜の準備が進められていました。「以前は利用者が入院すると家族にゆだねていましたが、高齢化が進み兄弟も他界されていることも多い。甥や姪など縁の薄い人に入院後のケアをお願いすることも難しい。ならば、本人のことをよく知っている私たちが看よう。亡くなられた後も、最近は引き取る人がいないこともある。それならば葬儀も行い、墓所も用意しようということになりました」。このことは現在、施設に暮らしている人たちにとっても大きな意味があるようです。「仲間が亡くなったことを伝えるのは難しいことだが、その人なりの理解をする機会となっています」・・・祭壇の前でお話しを伺っていると、「○○さん、亡くなったんだよ」、「前の園長先生と同じお墓に入るんだって」と話しかけてきた人がいました。

「家族と同じ墓に入れないなんて」と「無縁社会」を嘆く声も聞こえてきそうですが、「○○家の墓」という形が広まったのは明治後半、急増したのは高度成長期以降と聞くと、改めて「墓」という視点から「日本の近代」を振り返る必要を感じます。「先祖代々の墓」がある場合も、少子化により継承する人が減って管理が難しくなっているのは全国共通のようです。「散骨」や「樹木葬」など多様化する葬祭の形は、村はずれに卒塔婆を立て、みな一緒に土に帰っていくのが一般的だった、つい百年ほど前の風景と重なるような気もします。葬祭の形には「近代家族の歴史と変容」が反映されているのかもしれません。

このように考えてくると、自分のことをよく知っている人にケアされ、一緒に暮らしてきた仲間たちに見送られ、その近くに眠る・・これは「無縁」というより、むしろ新しい「縁」の形のひとつなのではないかと、思えてきます。どこでどのように生き、誰に看取られ、見送られ、どこに眠るのか・・・福祉とは「生老病死」、人の一生のすべてを包み込む大きな営みで、福祉現場は国民的な課題にいち早く取り組み、いろいろな試みを重ねているのだと思います。

通信教育 Q&A

受講生の方からよくある問い合わせについてお答えします。

Q1 引越で住所が変わったのですが?

A
- ●住所・氏名・勤務先に変更が生じた場合には、すみやかに住所・氏名・勤務先変更届により届出てください。
- ●上記変更は本養成所ホームページの登録変更フォームより変更することも可能です。
- ●住所を変更した場合は、上記届出とあわせて、郵便局にて転送手続きを行ってください。

Q2 修了証明書を請求したいのですが?

A
- ●国家試験の受験等、本養成所修了後に修了証明書が必要な場合は、次の２点を用意し、本養成所庶務部あてに請求してください。
  ①修了証明書交付願（受講の手引・ホームページに様式添付）、
  ②返信用封筒（返信先を明記し、80 円切手を貼付したもの）
- ●交付に際して、手数料は必要ありません。そのため、返信用封筒がない場合や交付願による請求でない場合は、発行できませんので、ご注意ください。

Q3 ワープロを使用する場合、原稿用紙はどうすればよいですか?

A
- ●本養成所指定の原稿用紙（様式：A4版・横書き・30字×40行）を使用します。
- ●本養成所ホームページ（http://www.aigo.or.jp/yoseijo/）から【入力フォームやテンプレート】をダウンロードできます。欄外に科目名、課題番号、学籍番号、氏名を記入して下さい。
- ●評価（採点）する側にとって、読みやすいことが大切です。

Q4 レポートを送付したいのですが?

A
- ●本養成所指定のレポート提出用封筒を使用し、レポート提出期間内に送付してください。
- ●１通の封筒に上限1kgまで、封入することが可能ですので、各学期提出分のレポート全てをまとめて提出してください。
- ●郵送中に配達事故が起こる可能性もありますので、レポートをコピーし控えをとる事や簡易書留等の交付記録郵便を利用しての送付をお勧めします。

●●●平成24年度スクーリング日程●●●

	第23期生スクーリングⅢ	第24期生スクーリングⅠ	第24期生スクーリングⅡ
東京会場	平成24年７月21日～22日	平成24年８月17日～19日	平成25年２月23日～24日
仙台会場		平成24年７月14日～16日	平成25年３月２日～３日
名古屋会場	平成24年８月４日～５日	平成24年８月３日～５日	平成25年２月16日～17日
大阪会場	平成24年７月28日～29日	平成24年７月27日～29日	平成25年２月９日～10日
福岡会場	平成24年８月25日～26日	平成24年８月24日～26日	平成25年３月９日～10日

国家試験に向けてのおすすめ図書

- 国民の福祉の動向（厚生統計協会）
- 厚生労働白書（厚生労働省）
- 週刊福祉新聞（福祉新聞社）
- 必携社会福祉士（筒井書房）
- 社会福祉士・受験ワークブック（中央法規）
- ワイド版社会福祉小六法〈資料付〉（ミネルヴァ書房）

知的障害者の福祉の向上を目指す月刊誌
知的障害福祉研究
support（さぽーと）
社会福祉士受験対策講座も連載中!!
お申し込みは
当協会『さぽーと』係まで

平成24年度 購読のご案内
●毎月15日発行
●A4判 68ページ
●1部 580円(税・送込)
●年間購読料6,300円(税・送込)
★当協会加入施設職員の方は5,000円で年間購読できます(1部 470円)。
☎ 03-3438-0467　FAX 03-3431-1803
http://www.aigo.or.jp/

※養成所に対するご要望・ご意見等ございましたら、ご連絡ください。　yoseijo@aigo.or.jp

第24回国家試験結果報告

第24回社会福祉士国家試験において本養成所より151名（うち23年度修了者73名）が合格しました。昨年度（第23回試験）は202名（うち22年度修了者101名）でした。

これまでの国家試験の結果

	受験者数（名）	合格者数（名）	合格率（%）
第１回試験～第10回試験	52,812	14,076	26.7
第11回試験	16,206	4,774	29.5
第12回試験	19,812	5,749	29.0
第13回試験	22,962	6,074	26.5
第14回試験	28,329	8,343	29.5
第15回試験	33,452	10,501	31.4
第16回試験	37,657	10,733	28.5
第17回試験	41,044	12,241	29.8
第18回試験	43,701	12,222	28.0
第19回試験	45,022	12,345	27.4
第20回試験	45,324	13,865	30.6
第21回試験	46,099	13,436	29.1
第22回試験	43,631	11,989	27.5
第23回試験	43,568	12,255	28.1
第24回試験	42,882	11,282	26.3
合　　計	562,501	159,885	28.4

国家試験の結果（養成所修了者）

	総数	新卒			既卒		
	合格者数(名)	受験者数(名)	合格者数(名)	合格率(%)	受験者数(名)	合格者数(名)	合格率(%)
第16回試験	199						
第17回試験	241						
第18回試験	235						
第19回試験	196						
第20回試験	253	262	146	55.7	408	107	26.2
第21回試験	212	244	124	50.8	434	88	20.3
第22回試験	224	262	133	50.8	423	91	21.5
第23回試験	202	206	101	49.0	426	101	23.7
第24回試験	151	179	73	40.8	440	78	17.7

●第24回社会福祉士国家試験合格基準●(文章一部省略)

次の２つの条件を満たした者を合格者とする。

(1)　ア　総得点150点に対し、得点81点以上の者（総得点の60%程度を基準とし、問題の難易度で補正した。配点は１問１点である。）。
(2)　(1)のアを満たした者のうち、以下の18科目群すべてにおいて得点があった者。
①人体の構造と機能及び疾病　②心理学理論と心理的支援　③社会理論と社会システム　④現代社会と福祉　⑤地域福祉の理論と方法　⑥福祉行財政と福祉計画　⑦社会保障　⑧低所得者に対する支援と生活保護制度　⑨保健医療サービス　⑩権利擁護と成年後見制度　⑪社会調査の基礎　⑫相談援助の基盤と専門職　⑬相談援助の理論と方法　⑭福祉サービスの組織と経営　⑮高齢者に対する支援と介護保険制度　⑯障害者に対する支援と障害者自立支援制度　⑰児童や家庭に対する支援と児童・家庭福祉制度　⑱就労支援サービス、更生保護制度

◆第25回（平成24年度）社会福祉士国家試験（予定）◆

１．試験の日時及び試験科目

試験日	試験時間	試験科目	
平成 25年 1月 27日（日曜日）	午前 10時00分～12時00分（時間未定）	①人体の構造と機能及び疾病	⑥福祉行財政と福祉計画
		②心理学理論と心理的支援	⑦社会保障
		③社会理論と社会システム	⑧低所得者に対する支援と生活保護制度
		④現代社会と福祉	⑨保健医療サービス
		⑤地域福祉の理論と方法	⑩権利擁護と成年後見制度
	午後１時30分～３時30分（時間未定）	⑪社会調査の基礎	⑯障害者に対する支援と障害者自立支援制度
		⑫相談援助の基盤と専門職	⑰児童や家庭に対する支援と児童・家庭福祉制度
		⑬相談援助の理論と方法	⑱就労支援サービス
		⑭福祉サービスの組織と経営	⑲更生保護制度
		⑮高齢者に対する支援と介護保険制度	

２．受験手数料
7,540円

３．受験申込書の受付（提出）期間
平成24年９月６日（木曜日）から10月５日（金曜日）（消印有効）まで

※上記の最新情報、受験申込書類『受験の手引』の請求方法や『出題基準・合格基準』については、社会福祉振興・試験センターのホームページ（http://www.sssc.or.jp/）を参照してください。

◆国家試験合格者の声◆

物江　恵美さん

私が社会福祉士の国家試験の受験勉強を始めたのは約１年前からでした。社会福祉士の試験は科目数も多く勉強には時間がかかること、また、受験するからには絶対に一回で合格したいと思ったからです。

まず始めに参考書と問題集を一冊ずつ用意しました。問題集を解いて間違えた箇所を参考書で確認して、ノートにまとめる、この作業を半年ほどかけて行いました。とても根気のいる作業で、特に自分の苦手な科目ではなかなか進まずにつらい時期もありましたが、あきらめずに続けました。この科目をいつまでに終わらせる、という目標を決めて進めることがポイントです。

そして、８月と10月に自宅で受験できる模擬試験を受けました。この模擬試験を受けたことにより、試験の時間配分が体験でき自分の苦手科目の再確認もできて、とても参考になりました。この２回の模擬試験では合格基準に達していませんでしたが、今振り返るとこの模擬試験がとても難しかったので、本試験が易しく感じて助かりました。

そして試験を２週間後に控えた１月中旬に、社会福祉士養成所の直前対策講座に出席させていただきました。この講座で先生が「これからの２週間は暗記！」と教えてくださり、私も勉強方法を暗記中心に切り換えました。また、試験勉強のポイントや試験当日に気をつけることなどアドバイスをいただき、とても参考になりました。先生やスタッフの方々には大変感謝しています。

試験当日は緊張してかなり焦ってしまい、時間が足りなくて見直しはほとんど出来ないという状態でした。それでも合格できたのは、時間をかけて丁寧に勉強したからだと思います。

仕事や家事をしながらの試験勉強は大変でしたが、充実した日々でもありました。私が勉強していると子供達も一緒に勉強したり、家事を手伝ってくれたりと良いこともたくさんありました。これから社会福祉士の試験勉強をされる方へ、あきらめずに頑張ってください、と伝えたいです。

榎本　世明さん

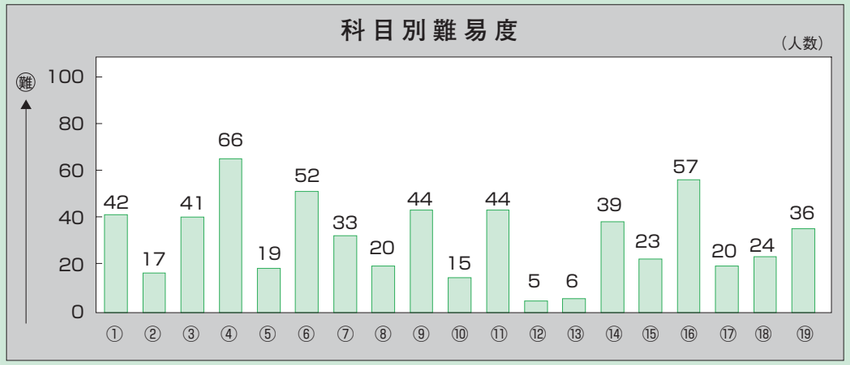
私は今回が初受験でしたが、試験ではワークブックや過去問では見たこともなかった単語が多々あったこと、また選択肢から正解を見つけるという作業よりは、消去法で解いた問題が圧倒的に多かったと記憶しています。難解な問題が次々と出てくる中で合格できたのは、最後まで諦めなかった集中力と問題を正確かつスピーディに読み解く、日々の訓練の成果が発揮できたからだと思っています。

私は仕事をしながらの受験だったため、いろいろなテキストを読みあさるのは止め、とりあえずは基本を徹底的に頭に叩き込もうと思い、勉強を始めた９月から使用したテキストはワークブックと過去問、一問一答の４冊だけでした。ワークブックを開いては、手が悲鳴をあげるまでひたすらノートに書いて覚えました。分からない単語にでくわした時にはスマホを取り出し、ネットを利用して自分の頭がきちんと理解、納得するまで調べました。通勤電車の中では、どんなに疲れていても一問一答をバッグから取り出しました。仕事の都合で模擬試験などは受けられませんでしたが、受けた友人にコピーを取ってもらうなどをして助けられました。

１月に入るとすでにワークブックはボロボロになり、あらゆるページがマーカーで埋め尽くされていました。この時期に入って予想問題に取り組むにあたっては、あまり問題に深入りせず、スピーディに解く訓練と、そのための正確な知識（基本）が頭に入っているのかを確認するための訓練としました。すでに頭の中はいっぱい　いっぱいだったので・・・。そんな中、１月中旬に行われた養成所主催の直前講座は、共に頑張る仲間と再会でき、励みになったことや、これまでの知識が正しい形で定着しているかを再確認できるとても良い機会でした。

最後に恐縮ながら二つだけ、合格のためのアドバイスを皆さんへ。
一つ、常日頃から問題はダラダラ解かないこと。「一問45秒」で正確に読み解く意識を心がけること。
一つ、１月は無我夢中で勉強すること。
ご拝読、ありがとうございました。

第24回国家試験に関するアンケートについて



平成23年11月に修了した第22期生207名を調査対象とし、160名（①受験をした142名、②申込をしたが当日受験しなかった６名、③申込をしなかった12名）からの回答が得られました。

図は受験者の回答をもとに難易度数（難しいと答えた人数）を示しています。

横（項目）軸の囲み数字は、試験科目の囲み数字の科目名を示しています。

※厚生労働省への報告のため、現在もアンケートは回収していますので、未提出の方は早急に提出してください。

◇残念ながら合格できなかった方々からの反省とコメント◇（アンケートより抜粋）

・テキストをもっと勉強するべきであった。自分の弱い分野にもっと時間をかければよかった。　・どれだけ多くの勉強（テスト問題、過去問題）に費やす時間が取れるのか、やれる時間の確保が問題。　・受講は有用だったと思うが、試験はまた別の物。体力、集中力が必要だと感じた。今回は準備もできなかったのでウォーミングアップのつもりで受けたが現状ではなかなか難しいと感じた。　・模擬テストを数多く体験するべきだったと痛感しました。学習不足を反省しています。　・事前の準備不足を大変反省しています。次回はもっと早い段階から試験対策をしていきたいと思います。　・レポートを書くのが精いっぱいで勉強がほとんどできなかった。苦手科目は特に意識して、こつこつ取り組んでいくことが必要と感じた。　※その他のコメントについてはホームページに掲載しています。